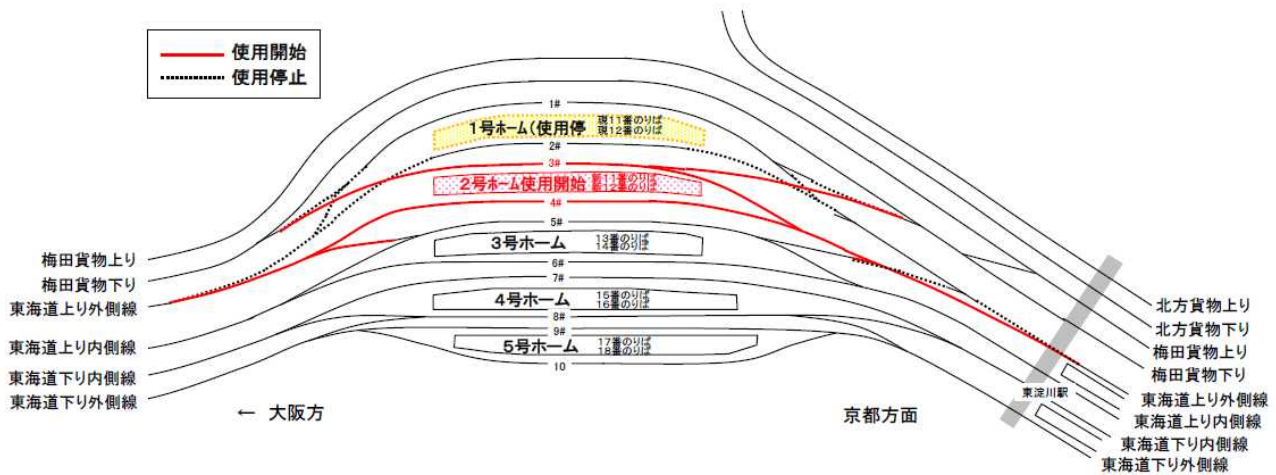


平成28年2月1日

新大阪駅の新11番・12番のりばを 本日(2月1日)から使用開始しました

新大阪駅ではおおさか東線整備事業(北区間:放出~新大阪間 平成30年度末開業予定)に伴う工事を進めておりますが、本日から11番・12番のりばが新しくなった2号ホームに変更になりましたので、お知らせします。



1. 新しい11番・12番のりばの概要

- ・エレベーター : 1基、エスカレーター : 2基(上り・下り 各1基)
- ・LED発車標 : 3箇所(両面表示2箇所、片面表示1箇所)
- ・ホーム端(11番線): 櫛状ゴム、転落検知マットスペースライト
- ・ホーム待合室 : 広さ...約40㎡、座席...15席

2. 主な改良点

安全性の向上

列車とホームの隙間を縮小し、段差も解消します。

サービスの向上

特急乗車口案内標の設置(LED化)

省エネの実現

ホーム上の照明を全てLED照明に変更し、消費電力を約35%削減します。

(改良前の2号ホームとの比較)

新快速列車と普通・快速列車の遅延波及を軽減

大阪方面に渡り線(上り外側線-13番のりば)を新設することで、これまで大阪~新大阪駅間の上り内側線を走行していた新快速列車と快速・普通列車の線路を内側・外側線に分けることが可能となり、一方の列車が遅延しても、もう一方の列車への遅延の波及が軽減されます。

